

前橋市議会議員

# 絆

主役は市民!

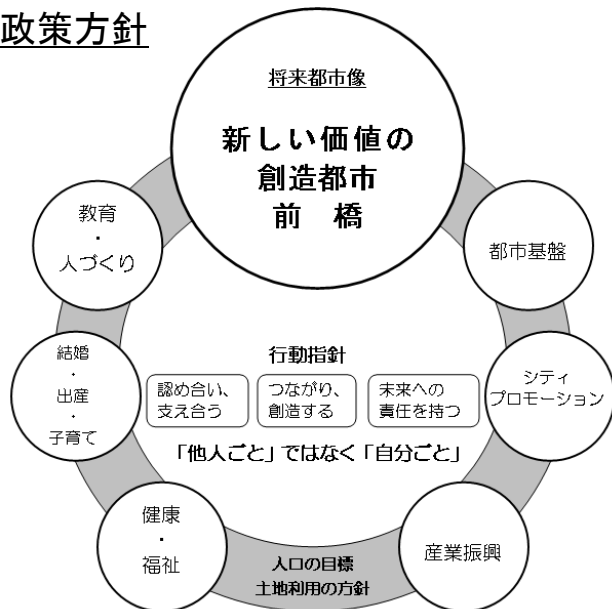
## 細野勝昭 活動報告



2020年(令和2年)春号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3

<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>  
計画期間:2018~2027年度の10年間

### 政策方針



10年後の人口目標(2027年度)318,000人

### ビジョン

めぶく。

~良いものが育つまち (where good things grow.) ~

# 令和2年度 予算決まる

## 一般会計予算 1443億2309万円

(前年度比 プラス2億2514万円 +0.2%増)

令和2年度の予算編成にあたっては、計画期間の3年目となる「第7次総合計画」及び前橋版総合戦略の着実な推進、未来に向けた子育てや教育環境の整備、社会保障の充実、雇用の創出、まちづくり等「6つのまちづくりの柱」の重点施策の着実な推進が求められます。そして目指す将来都市像は「市民一人ひとりが個性と能力を生かし、個々に輝くことにより新しい前橋らしさを創造するまち」としてまいります。

本市の財政状況、とりわけ基金を構成する財政調整基金残高は、平成27年度(100.4億円)以降減少の一途を辿っており、令和元年(60.7億円)となっており、「備えあれば憂いなし」という諺もありますが、有事に備えた蓄えの努力が求められます。



総括質問をする細野議員

本市は現在、CCR事業・駅北口再開発事業・中心市街地再開発事業・道の駅など大型事業を推進するにあたって国や県からの支援策はあるものの、市としての負担も相当な額になるものと想定されます。厳しい状況の中、例えば大型事業の「道の駅」については市としての負担も大きいことから、若干事業の開始時期を遅らせるなどの配慮が必要と考えます。

コロナウイルスの影響が懸念されることから財政負担も大きくなること予想されますが、市長が常日頃口にされている「やりくり」ということについての検討もなされるよう要望してまいります。

事業推進にあたっては、官と民の役割分担の明確化と、事前に議会に対する説明責任を果たされるよう申し上げておきます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対象区域を13都道府県から「緊急事態宣言」を全国に拡大し、ゴールデンウィーク明けまで延長されました。既に政治、経済、くらし、文化、医療、教育といったあらゆる分野に大きな影響が出ております。今後発生する諸問題の解決に行政と連携をとりながら取り組んでいきます。

先の市長選で市民フォーラム(所属会派)として、「岩上憲司氏」を応援しましたが当選には至りませんでした。既に山本市長のもと、副市長2人体制で市政運営はなされております。徹底した情報公開と説明責任を果たし、対話と協調による開かれた市政運営を強く要望するとともに、今後市政全般にわたってチェック機能を果たしていきます。



現在沢山の政策課題を抱えておりますが、行政と議会が有機的な連携を図り、今日の厳しい社会環境の中にあつて、市民力・地域力の向上が図られるような施策展開により、県都にふさわしい街づくり実現はできると確信しております。

私の政治姿勢である「主役は市民」との信念のもと「是々非々」で臨みます。

細野勝昭 拝

第一回(3月)定例会  
総括質問(抜粋)

\*住宅政策について

・高齢化による独居住宅も増え、さらに、施設入所などによる空き家となるケースが増えている。防犯という面での新たな問題点も指摘されている。一方で、近居・多世代同居支援・移住コシエルジュ・地域おこし協力隊の活用等効果的な移住・定住施策などを推進しているが、事業の成果と検証はなされているのか伺います。

\*まちづくりについて

・街のにぎわい・活性化という点について、にぎわい商業課事務所は中心街の本丸ともいえる位置にありますし、また市長さんの事務所は中心商店街のど真ん中にありますことから、まちの様子、人の流れが肌で感じ取れる位置にあります。率直に現状のまちの姿、にぎわい・活力など「県都まえばしの顔」と言われるような中心商店街の姿に塗り替えていくための施策について伺います。

\*まちなか開業支援事業について

・事業費として三十万円で計上されているが、平成27年度から令和元年までの5年間で65件の出店支援に対し八千六百七十七万円の補助金が支出されている。その支援内容の補助金の上限は二百万円であることから、事業の継続性という観点から追跡調査などの必要性を感じます

\*各種まつりのあり方について

・七夕まつりなど開催期間の見直しや祭り全体で警備に多額の費用が掛かるなど、多くの祭りに対する改善要望が出されている。社会・経済・取り巻く環境は大きく様変わりしているにもかかわらず「年々歳々、同じやり方」ではなにかかる費用の削減なども含め協議をされるべきと考えますが見解を伺います。

\*産業政策について

・西善・中内町における団地造成についての規模、今後の進め方について伺います。



第一回(3月)定例会  
建設水道常任委員会 質問(抜粋)

\*交通安全施設整備事業について

・七千四百万円の予算が計上されているが、具体的にはどのような事業内容を指しているのか。最近では、市内全域の生活道路を含め安全の指標である路面表示の鮮明箇所が多く見受けられる。事故防止という観点から、さらに危険度など層別していくと事業の優先度が決まると思われるが、具体的な事業内容について伺います。



委員会質問をする細野議員

・通学路の安全施策として「ゾーン30」の設定箇所も増えてきたが、設定の根拠とドライバーに対する周知、時間帯、終日適用などにも一考を講ずべきと考え見解と来年度の予定を伺います。

\*狭隘道路について

・狭隘道路の改善は防災・住宅環境の整備や人に優しいまちづくりという観点から改善を希望される人は多いが、現実問題としてご自分で持っている土地を供出してまでということになると二の足を踏まれる方が多いというのが実情ではないかと考えます。しかしながら、快適な生活環境の構築という観点から推進する必要性を感じますが、この種の問題についてはどのような取り組みをなされていくのか伺います。

\*区画整理事業について

・事業推進の妨げとなっている要因として、仮換地が決まっているにもかかわらず移転できない世帯に対する対応について、当局として具体的にどのような交渉をされたのか伺います。

・厳しい財政状況にあって、移転補償に係る費用の確保は年々厳しく、事業全体の進捗管理に大きく影響すると考える。時として「直接施行」という手段も選択せざるを得ない環境も視野に入れた対応を考えますと、該当者に対する説明・理解をいただく方法しかないと思われませんが見解を伺います。

\*中心市街地再整備事業について

・重点事業として①中心市街地再開発事業の推進②広瀬川を活かしたまちづくりの推進事業費として七億五千万円が予算計上されている。その事業目的は、中心市街地エリア一体の魅力向上とありますが、例えばまちなか居住や土地の共同化、高度利用に寄与する優良建築物の整備・促進とありますが令和2年の事業内容について伺います。

・事業推進にあたっては、民間企業とのコラボレーションも想定されていると思われるが本市の財政状況から察すると、財源如何で事業の進捗が大きく左右されると思われる。ましてや国・県の補助金についても、不透明な要素があることから、財政状況・事業推進など中心市街地再生事業の進捗に大きく影響すると考えられるが見解を伺います。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所  
〒371-0801  
前橋市文京町1-45-3  
TEL: 027-221-2208  
FAX: 027-221-2279  
携帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026  
前橋市大手町2-12-1  
TEL: 027-224-1111  
所属 会派: 市民フォーラム  
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員  
都市計画審議会委員